

# 鹿陵会会報

## CONTENTS

p.1~3	ご挨拶	p.6~7	母校だより
p.4	同窓会つうしん	p.8	鹿陵会幹事名簿
p.5	定期幹事会報告		創立70周年記念事業のご案内

本年、私たちの母校飾磨高校は創立七十周年を迎えます。「新体制で記念事業を」と、幹事会で古沢前幹事長からバトンを託されました。精一杯務めて参りますので鹿陵会の皆さまどうかよろしくお願いたします。

長年無沙汰をしていましたが、幹事長として鹿陵祭や入学式などの式典に出席する度に、生徒の取り組む姿勢や先生との絆の確かさを感じました。母校は良い意味で変わっていました。

私は昭和47年(第24回)に卒業しました。高校の入学試験が兵庫方式に切り替わって二年目で、また、大学紛争が高校へ飛び火した時期でもあります。我が校でも生徒集会で先生を総括したり、授業をボイコットしたり「荒れる高



### ご挨拶

幹事長  
山本博祥

永年にわたり鹿陵会の発展に努められてこられました後藤前会長の辞任の意向を受け、昨年5月の鹿陵会幹事会においてご推薦を受け、鹿陵会会長を務めさせて頂いたことになりました。

私は、本校21回の卒業生です。お世話になりました飾磨高校に対して、少しでも恩返しができればとの思いでお受けいたしました。任命を頂いたからには、会の活性化をめざし、頑張つてまいる所存です。鹿陵会の皆様、これからどうぞよろしくお願いたします。これまで、当職として、文化祭、



### ご挨拶

鹿陵会会長  
鷲尾和正

の新人事を編成いたしました。昨年8月には、鹿陵会と、PTA、学校の三者で、七十周年記念実行委員会を組織し、現在、実行に向けて、会合を重ねまして、各種事業を策定中です。

鹿陵会の皆様には、久しく当会の案内ができていませんでしたので、今回は会報を発行させて頂き、「記念事業」の案内と、新執行部の紹介、会計報告等を皆さまにお伝えすることになりました。

「記念事業」としましては、11月18日(日)に、記念式典並びに記念講演を計画しています。講演は、本校卒業生である「東北大学 井上明久前総長」にお願ひしています。学生時代の思い出、現在のご研究のことなどを含め、生徒にとつて貴重なお話をさせて頂けるものと思つております。

学校に対しての記念品としては、生徒たちの日常の学校生活に役立つ必要な設備、備品を贈呈したいと計画しております。そして記念誌も五十年以来となりますので策定しています。七十年にわたる学校の記録、お世話になりました先生方、卒業生の皆さんの回顧録などを掲載する予定です。

加えて、式典当日は、記念祝賀会も計画しております。鹿陵会の皆様は、同窓の皆様はもとより、先輩、後輩の方々とともに懇親を深め、共に七十周年を祝つて頂き、母校への想いを一層強くしていただければと思います。一人でも多くのご出席お願ひいたします。



鹿陵会会員の皆さま、どうか七十周年記念事業を次の八十周年、百周年と引き継いでいけるよう、お力添えよろしくお願ひいたします。



## ご挨拶

前鹿陵会会長  
後藤 勇

私たちの母校は、昭和17年2月20日に兵庫県飾磨高等女学校として発足以来、戦後の学制改革による県から市への移管、校種の改編、および校名の改称などを経て、昭和23年4月1日に姫路市立飾磨高等女学校と改称、同年6月30日に男女共学となって、同年9月1日に現在の姫路市立飾磨高等学校となりました。その後、幾多の時代の変遷に応じ、平成15年度には地元のニーズを受けて普通科に健康福祉コースを増設して今日に至っております。そして、平成24年度にはめでたく創立70周年を迎え、歴史と伝統ある母校に改めて重みと誇りを感じます。卒業生は1万9千人を優に超え、校訓「自主・勤勉・信愛」の下、地元はもとより広く国内外でご活躍なさっていることはご同慶の至りでございます。

さて、その懐かしい母校の同窓会である「鹿陵会」会長という大任を、昭和55年から平成23年4月の長きにわたって北野繁光前会長の後を受けて務めさせていただきました。その間、会員相互の親睦をはかり母校の発展に寄与することを目的として、特にクラブ活動への援助費・鹿陵祭援助費・各同窓会援助費の助成や周年イベントの開催実行に力を入れてきました。古くは平成元年に柔道場・剣道場・体操練習場・吹奏楽練習場の完成に尽力し、最近では平成22年度からささやかではありますが、卒業生への記念品贈呈なども行っております。

ところで、私ごとですが、地元飾磨の地で長年開業医として暮らし、さらに鹿陵会の役を拝命しておりますため、折に触れて飾磨高校を訪れることがあります。市川の清き流れ、春には爛漫の桜並木、夏の光に輝く播磨灘、秋にはけんか祭りの響きなど、美しい自然は昔のままですが、平成11年から5年計画で始まった大改修工事によって、校舎は白亜の機能美を備えた堂々たる建物へと大変身を遂げました。そこに私たちが学んだ懐かしい木造校舎の面影をたどることはできません。そして、流れる時間の中で私自身も年を重ね、万物流転、諸行無常……そのような言葉が実感を伴って感じられる今日この頃であります。そこで、後進の皆様方には是非とも道を譲りたく願ひ出たところ、鹿陵会幹事

会で快諾をいただきました。その結果として新役員を30年ぶりに改選し、21回生の齋尾和正氏に会長職をお願いする運びとなりました。新会長は建築家としてご活躍中で、「社」兵庫県建築士事務所協会の姫路支部長、NPO法人ひょうごへりテージ機構ひめじ理事などを務められ、地元姫路のまちなみの保存・発展のためにも広く貢献しておられます。新会長の下、ますます鹿陵会が活性化し、母校が新しく大きく発展していくことと存じます。

また、私たちの後輩である在校生諸君は、有名大学や優良企業への進学者数・就職者数を伸ばす一方で、体操競技部や空手道部・サッカー部・野球部・陸上競技部・弓道部・吹奏楽部などを中心として、全国へ近畿へと出場を果たしております。また、地元の皆様からは「ポランテアの飾磨」という評価もいただき、まさしく知・徳・体のバランスの取れた素晴らしい若者として頼もしい限りです。

最後に、鹿陵会の皆様方のより一層のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、長きにわたる私たち旧役員に対するご支援と、校長先生はじめ諸先生方、各回幹事の方々の多大なるご尽力に深く感謝申し上げます。さらに、今後とも母校および鹿陵会発展のため、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。



## ご挨拶

姫路市立飾磨高等学校校長  
山口 敏 克

すがすがしい初夏の季節となりましたが、鹿陵会の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。また、常日頃から母校の発展に温かいご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。誠にありがとうございます。

私は昨年4月の異動で本校教頭から昇任し、第17代校長を拝命いたしました山口と申します。よろしくお願ひいたします。さて、本校は今年で創立七十年を迎えることになりました。人間でいえば古稀の祝いであります。そこで、11月18日(日)に姫路市立飾磨高等学校創立七十年記念式典を開催する予定にしております。これは本当に記念すべきことであり、伝統ある飾磨高等学校の重みを感じていきます。

学校沿革誌を組解けば、本校の前身である兵庫県飾磨高等女学校が昭和17年2月20日に認可され、4月8日に第1学年3組(梅組・桜組・菊組)16名が入学を許可されたことと記されています。これが、我が市立飾磨高等学校のはじまりです。その後、昭和23年4月1日に市立飾磨女子高等学校に改名変

更され、9月1日に新制高等学校統合男女学実施に伴い男女共学となり、姫路市立飾磨高等学校と改名変更され、現在に至っております。

その後、戦後の流れの中で、半世紀にも亘って連続と続いてきた輝かしい伝統の上に新しい気風も加わり、最近では平成15年に健康福祉コースを設置して、さらに進化発展し続けています。卒業生においては、1万9千人を優に超え、校訓である「自主・勤勉・信愛」の下、生涯にわたって自ら学びつづける意欲や姿勢など、また、人を思いやる心、母校を受愛する心など生きる力や身につけて社会に貢献していることを確信しております。今後七十年を節目に今以上に教師・生徒が一体となり、姫路市民の期待に応える学校づくりに邁進し、本校の一層の発展に努めてまいらる所存でございます。

最後になりましたが、鹿陵会会員の皆様のお力添えのおかげで、今後とも後輩たちに変わらぬ温かいご支援をいただきますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

最後になりましたが、鹿陵会会員の皆様のお力添えのおかげで、今後とも後輩たちに変わらぬ温かいご支援をいただきますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。

挨拶とさせていただきます。



## 七十周年を迎えて

PTA会長  
寺尾 宏行

同窓会会員の皆様におかれましては、益々のご清福にてご活躍の事とお慶び申し上げます。

本年度、飾磨高等学校PTA会長を務めさせていただきます寺尾でございます。実は私も、本校を昭和52年に卒業している29回生です。微力ではありますが、PTA役員の方々と共に、力をあわせて飾磨高等学校の発展に寄与してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。本校生徒は「自主・勤勉・信愛」

を校訓として、勉強や部活動に頑張っております。そして、その成果も上がってきております。また、山口校長が教頭として赴任されて以来、「元氣・笑顔・挨拶」を復唱され、教職員が一丸となり声かけを続け、指導されてきました。その甲斐があり、風紀が見違えるほど良くなってきております。同窓会会員の皆様も、一度、母校に足を運んでみてください。そして、学校概要、部活動、また今後の母校の発展のために、温かい感想や

助言など、ご一報をいただけたら幸いです。どうぞ、今まで以上のご支援を、よろしくお願ひ致します。

さて、本年度、飾磨高等学校は、創立七十周年を迎えます。11月には、記念式典を準備致しております。飾磨高等女学校として開校以来、偉大な先輩諸氏を多数輩出しております。そのお一人で、東北大学前総長でいらっしゃいます井上明久先生を式典にお迎えして、記念講演会を実施する予定でございます。盛大な記念行事となりますよう、お一人でも多くのご参加をお願ひ申し上げます。どうぞ、ご理解とご協力をよろしくお願ひ致します。

最後に私の母校でもある、飾磨高等学校同窓会の今後益々のご発展を、心より願っております。

## 七十周年おめでとうございます

生徒会長 白倉 彩佳

七十周年を迎える年に本校に在籍し、生徒会長であることを誇りに思い、光榮な気持ちでいっばい

飾磨高校の生徒は校長先生の合言葉である「元氣・笑顔・挨拶」を實踐し、いつも活気にあふれた高校生活を送っております。行事では、どのクラスも団結力を見せ、一人一人が各自の役割をきちんと果たし、しっかりとけじめを持って成功させています。

勉強面においては、普段の学習から日々まじめにとりくんでいきます。資格検定も積極的に受験して

等を取ることができました。これらの取得した資格は、将来の職業選択にも大いに役立っております。又、ボランティアなどにも積極的に参加し、社会の一員として自覚をもって活動しています。

部活動では、文化部・運動部ともに目標に向かって地道に頑張っております。各部とも活動の成果を十分に発揮して、それぞれ優秀な成績をおさめています。部活動で養った忍耐力や協調性は、これからの生活の中で生かされていくと思っております。

飾磨高校で過ごす毎日は、とても充実しています。友人といっしょに勉強し、語り合い、試験が返ってきたら順位を競い合い、日々友人との絆が深まっております。

これからも、一人一人がそれぞれ自分の目標を持って、忍耐強く勉強や部活動に取り組んでいきます。

七十周年の伝統の重みを受けとめ、これからも地域の皆さんに愛され、信頼される飾磨高校生でありたいと思っております。



## ご挨拶

前PTA会長  
杉山 治

平素は飾磨高等学校の運営並びに施設援助、部活動の応援及びご支援を頂き誠にありがとうございます。

私は、本校の卒業生ではありませんが、長男・次女・次男の三人が七十周年を迎えようとするこの伝統ある学校でお世話になりました。そのご縁で本部役員を連続8年間

努めさせて頂くこととなり、次男の卒業と同時に、この度大役を終える事になります。その間に感じた事を申し上げます。

- ①生徒の挨拶、礼儀正しさ
- ②学校内の清潔さ（掃除がゆきとどいている）
- ③保護者の方々の学校への信頼の厚さ

最後にになりましたが、七十周年記念行事に向けてご尽力頂いております。庶務会幹事会・同窓会幹事会並びに諸先生方・関係者の方々に厚く御礼申し上げます。と共に今後の飾磨高等学校の発展と皆様のご活躍を祈念申し上げます。

- ④学力のレベルアップ
- ⑤教職員全員の生徒に対する熱意ある指導力
- 自主・勤勉・信愛の校訓の精神を基に元氣のある学校だと強く感じました。

英語検定は一年時に全員受験し、漢字検定は希望者が受験します。毎日の学習に加えて、具体的な目標を定めて勉強することは大きな励みになります。そして合格した時の喜びは一人一人の大きな自信と繋がっています。



# 同窓会 つづしん

## 第21回生同窓会

(鹿餐会21)

ご紹介

同窓会幹事  
3年5組 前田晴久



私たちは9クラスで40人、昭和44年(1969年)に卒業しましたが、在学中は男女共学と言っても、男女同室はホームルームだけで、授業は男女別、コース別という変則スタイルでしたので、放課後のクラブ活動が楽しみな毎日でした。ピートルズやグループサウンズ全盛時代でしたし、深夜のラジオ放送を聴きながらの勉強も懐かしい思い出で、自由で、夢と希望に溢れる高校生活を過ごせました。一番の思い出は、鹿祭の準備で、放課後クラスの仲間と協力しあつたことでした。自由な校風と個性的な先生、良き仲間に出会えたことを感謝いたします。

◆ その頃の日本は1970年に大阪万博があり、新幹線や高速道路の開通など、めざましい発展を遂げていました。また、社会的にはベトナム戦争、3億円強奪事件、東大紛争、アポロ13号月面着陸、沖縄返還交渉など大きな出来事があり、その後1973年にオイルショックが起き、二十歳過ぎの頃には政治・社会などあらゆる面で国内外とも変革期を迎えています。1969年「由紀さおり」さんが「夜明けのスキヤット」で歌手デビューされましたが、最近この曲が全世界で大ブレイクしており大変懐かしい思いです。

◆ さて、私たちは卒業後、学年同窓会をしていなかったのですが、還暦同窓会をしようと、1年ほど前から有志約15人が集まり準備を始めましたが、当時の生徒会名簿では住所不明者が多く、何度も会合を重ねることになりました。準備作業は思い出話に邪魔をされ、一向にはかどりません。でも携帯電話やメールが大いに活躍してくれま

した。そして今後の同窓生の親睦と情報交換を図ることを目的に同窓会ブログを開設しました。ブログには同窓会の写真やビデオのほか、食事会やお花見などの行事、同窓生の近況などを掲載し、メール機能もありますので、一度覗いてみてください。

<http://okusankei21.blog.fc2.com/>

◆ 2010.5.1の同窓会では卒業生40人中、83人が出席し、42年振りに思い出話や近況確認に花が咲きました。特に、青春時代によく歌った歌は、その時代の数々の思い出をよみがえらせてくれるほど、印象深く残っており、大いに盛り上がりました。

◆ 2011.8.13に二回目の同窓会を開催し、47人が出席、再会を果たしました。

現在、自由参加で三カ月毎に食事会やお花見などを続けていますが、次回の学年同窓会は2015年65歳の時に開催しようということになっていきます。

◆ 私たちの同窓生のうち既に9名が逝ってしまいました。また阪神淡路大震災や昨年の東日本大震災と大津波を目の当たりにしました。「人間、いつ死ぬかは誰もわかっていない」「今を生かされて」「今、何ができるのか」という思いを強く持ちました。今後は「人生の円熟期」「第2の青春」と捉え、前を向いて歩いていこう。先に逝った仲間と被災された方々のためにも。

### 同窓会事務局だより

#### ○鹿陵会役員の内

平成24年鹿陵会役員

会長 鷲尾 和正  
副会長 高澤 龍一  
山本 照子  
幹事長 山本 博祥  
副幹事長 松岡 和雄

#### ○鹿陵会会員の現況について

平成24年度より鹿陵会会員の住所等の管理・維持(メンテナンス)を推進してまいります。が、会員の皆様のなかには判明できない方も多々おられます。何か情報をごございましたら事務局までご連絡をいただければ幸いです。

#### ○鹿陵会会員の情報について

会員の住所、電話番号、勤務先などの情報は慎重に取り扱っています。非掲載を希望されます方はお電話・はがき等でご連絡をお願いします。

また、事務局へ会員の住所を教えてくださいとの申し出があります。個人情報保護のため、お答えは差し控えてさせていただきます。

#### ○各同窓会開催への援助

現在、同窓会開催について、「往復はがき」+「印刷代」を援助費として交付しています。同窓会開催等で必要とされます幹事の方は鹿陵会事務局までご連絡ください。

# 定期幹事会のご報告

平成24年度定期幹事会は、平成24年5月13日(日)午後1時30分から飾磨高等学校会議室において開催されました。  
 山本幹事長を議長に選任して、鷲尾会長の挨拶、田上教頭の学校の現況報告のあと、議事に入りました。  
 平成23年度会計報告、70周年記念事業を含む平成24年度事業計画、平成24年度予算について、熱心な議論の末、承認されました。

## 鹿陵会 会計報告

### 平成24年度 鹿陵会 収支予算

◆収入の部

定期預金の部

区分	予算額	備考
定期	24,875,895	播州信用金庫・三井住友・兵庫信用金庫
定期利息	52,008	播州信用金庫(定期利息預金)
合計(a)	24,927,903	

繰越・会費等

区分	予算額	備考
繰越金(普通預金)①	6,820,208	兵庫信用金庫普通預金
新入生入会費②	240,000	1年生1,000×240名
年会費③	886,800	1,200×(1年生240名2年生232名3年生267名)
終身会費④	934,500	65回生3,500×267名
会費合計⑤	2,061,300	②+③+④
合計(b)	8,881,508	①+⑤

◆支出の部

通常事業費 ※繰越金(普通預金)と年度内会費収入で起案

区分	予算額	備考
会議費	200,000	
クラブ活動援助費	700,000	
施設整備援助費	200,000	
同窓会援助費	400,000	
通信費	100,000	
慶弔費	300,000	
事務費	150,000	事務委託費を含む
卒業生記念品	400,000	
予備費	6,431,508	
合計(d)	8,881,508	

会報発行事業費

区分	予算額	備考
会報発行費	3,871,094	印刷費・郵送料・名簿管理費・事務費等

70周年記念事業費

区分	予算額	備考
70周年記念事業費	6,000,000	70周年記念誌・70周年記念品・式典費・講演会・事務費

会報発行事業費及び70周年記念事業費は、定期預金(兵庫信用金庫)9,871,094円を解約し同事業費に当てる。

### 平成23年度 鹿陵会 収支決算

◆収入の部

定期預金の部

区分	予算額	決算額	備考
定期	24,868,499	24,875,895	播州信用金庫・三井住友・兵庫信用金庫
定期利息	32,001	52,008	播州信用金庫(定期利息預金)
合計(a)	24,900,500	24,927,903	

繰越・会費等

区分	予算額	決算額	備考
繰越金(普通預金)①	6,448,489	6,448,489	兵庫信用金庫普通預金
新入生入会費②	240,000	240,000	1,000×①240名
年会費③	956,800	945,600	1,200×(①240名②275名③273名)
終身会費④	955,500	952,000	64回生3,500×272名
会費合計⑤	2,152,300	2,137,600	②+③+④
合計(b)	8,600,789	8,586,089	①+⑤

◆支出の部

※繰越金(普通預金)と年度内会費収入で起案

区分	予算額	決算額	備考
会議費	200,000	45,484	
クラブ活動援助費	650,000	508,000	バスケットゴール設置費を含む
施設整備援助費	200,000	200,000	
同窓会援助費	400,000	330,000	
通信費	150,000	35,052	
慶弔費	300,000	140,000	
事務費	150,000	121,785	事務委託費を含む
卒業生記念品	400,000	385,560	
予備費	6,150,789	0	
合計(d)	8,600,789	1,765,881	

繰越金

区分	予算額	決算額	備考
収入合計(b)	8,600,789	8,586,089	
支出総額(d)	8,600,789	1,765,881	
繰越金額(e)	0	6,820,208	繰越金額(b)-(d)
繰越総額		31,748,111	定期(a)+繰越金額(e)

同窓会事務局よりお願い

○鹿陵会維持会費納入のお願い  
 姫路市立飾磨高等学校同窓会「鹿陵会」をこれからも維持管理していくために同窓生の皆様のご協力をお願いすることとなりました。

維持会費(1000円)の振込みにご協力お願いいたします。

- 1、鹿陵会報の編集と発行(年一回予定)
- 2、母校の施設、設備の充実
- 3、在校生徒の部活動支援
- 4、各期同窓会の通信費等の補助
- 5、会員名簿の管理等を行っております。

同窓生におかれましては、鹿陵会の活動については是非ともご理解をいただき、維持会費の納入にご協力賜りますようお願い申し上げます。

○七十周年記念誌の購入のお願い  
 本校の七十周年を記念して、記念事業を開催するとともに、記念誌を作成いたします。同窓生の方には是非お読みいただきたくお願いいたします。

記念誌購入希望の方は、**一冊二一〇〇円(送料込)**の振り込みをお願いいたします。記念式典終了後鹿陵会から発送させていただきます。

# 姫路市立飾磨高等学校 教育方針・教育目標

## ◆校訓

自主 勤勉 信愛

## ◆教育目標

校訓「自主・勤勉・信愛」の精神を基調として、基礎・基本を身につけ、一人一人の多様な能力と個性の伸長を図り、自覚と責任をもってたくましく生き、地域社会に貢献する人材を育成する。

## ◆教育方針

- (1) 自主的精神を養い、夢の実現に挑戦できる学力を身につけさせる。
- (2) 伝統ある飾磨高等学校生徒としての自信と誇りを持たせる。
- (3) 生徒と教師が過ごしやすい学校をめざす。

- (4) 家庭、地域との連携を図り、信頼と協調を基盤とした教育活動を推進する。
- (5) 教育者としての使命を意識し、広い視野と専門的な知識や指導力の向上に取り組む。

## ◆目指す学校像

- (1) 「元気、笑顔、あいさつ」を合言葉に輝いている学校
- (2) 授業が生き生きと進められている学校
- (3) 規律が守られている学校
- (4) 健康福祉コースを基盤とした特色ある学校
- (5) 生徒と教師、保護者が信頼し合う学校



<p>平成24年度PTA役員</p> <p>会長 寺宏 副会長 尾行</p> <p>古田 貴子 盛林 哲夫 廣川 律子 森川 由紀子 綾部 由美</p>	<p>PTA役員のご案内 (平成24年度)</p> <p>波邊友貴 (英語)</p> <p>壺阪友紀 (社会)</p> <p>藤田識人 (数学)</p> <p>木村健志 (数学)</p> <p>黒田典秀 (数学)</p> <p>秋山秀恵 (英語)</p> <p>▼兼任された先生方</p> <p>山下照雄 (数学)</p> <p>光本一夫 (社会)</p> <p>足立英明 (国語)</p> <p>橋本幸男 (英語)</p> <p>藤谷創士 (数学)</p> <p>堀田晃士 (英語)</p>	<p>職員共働のご案内 (平成24年度)</p>
--	--	--------------------------



